



4月1日にリニューアルオープンした学生交流室の愛称を公募したところ、5月6日締切の時点で49件の応募がありました。寒河江学類長、小林副学類長（施設担当）、正木2021年度副学類長（施設担当）の3名で審査を行い、経済学類3年、斎藤さんが提案した「エコ ベース」に決定しました。愛称のエコは、エコノミクスとエコロジーの両方をかけており、交流室が「経済学類生のための基地」のように機能し、ここから専門的なアイデアが創造され、居心地のいい環境を維持して欲しいという思いが込められているということです。なお、本学は英語での教育に力を入れていること、大学院生レベルではカタカナの読めない留学生も増えていることから、斎藤さんのアイデアを尊重しながら、愛称はアルファベットで「Eco Base」と表記することになりました。写真は5月17日のお昼休みに行われた図書カード贈呈式の様子です。

2022.5.17NEWS 掲載